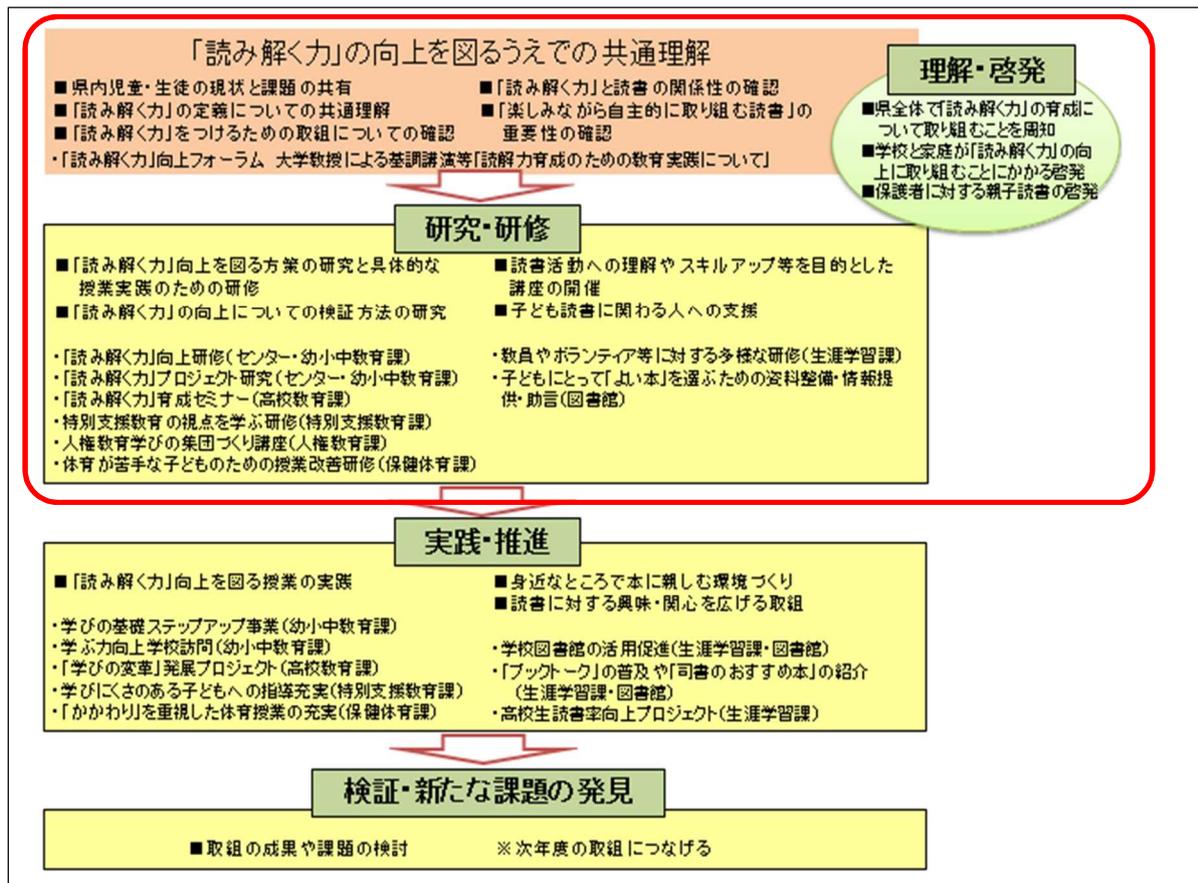


「読み解く力」の向上を図るための取組の状況について



※ 高校教育課・幼小中教育課・特別支援教育課・生涯学習課・総合教育センター・図書館の事業についてまとめたもの

■ 上期のまとめ

理解・啓発

学校関係者のみならず、保護者を含む広く県民に対して、様々な機会を捉えて周知してきた。

(1) 各種会議等での説明

- 4月 市町教育委員会教育指導担当者会、PTA役員研修会、学校教育の重点・事業説明会、教育行政重点施策説明会、滋賀県公共図書館協議会、しが子ども読書活動推進協議会
・ 「読み解く力」の必要性や重要性など、基本的な考え方について説明
- 5月 「読み解く力」向上フォーラム、総合教育会議
・ フォーラムへの参加者は「読み解く力」に関する共通理解や必要性・重要性について、93.3%の肯定的回答
「学ぶ力向上学校訪問(第1期)」(7月まで)
・ 各校で「読み解く力」の育成について、どのように計画し、説明しているか管理職に確認
- 6月 公開授業の実施(小中学校1校ずつ) → 小学校での授業の様子がNHKで放送
- 7月 情報誌(教育しが 7月号)やWebでの発信

(2) 保護者に対する親子読書の啓発

- 5月～ 「おうちで読書」推進会議の開催
・ 啓発リーフレットの検討・作成 → 市町関係課、しがふぁみ企業等へ配布
・ 読み聞かせブース出展のためのボランティア研修会の実施(7月)
- 9月 市町や企業のイベント等に読み聞かせブース出展を開始(今年度10回予定)

(3) その他

- 雑誌『教育展望』（9月号）への投稿（東京大学 藤江康彦教授）
 - ・これからの社会で生きていくために必要な学ぶ力の基盤として位置付けている「読み解く力」について、全国で紹介される予定
- 教育しが（10月号）やひとり親家庭サポートだより（秋冬号・子ども・青少年局発行）で読書に関する取組を紹介予定

研究・研修等

(1) プロジェクト研究・向上研修会

「読み解く力」推進委員による研究と研修が一体的に進められ、指導方法が確立しつつある。

- 研究会や研修会を重ねることにより、推進委員の資質向上が図られつつある。
- 子どもが「読み解く力」を身に付けた姿を具体的にイメージして授業を構想できるよう、「単元構想シート」や「授業ナビシート」を開発し、活用されている。

(2) 「学びにくさのある子どもへの指導充実事業」

発達障害支援アドバイザー・スーパーバイザーの指導助言により、分かりやすい授業への改善が進んでいる。

- 6月の読み解く力向上研修会と連動する形で、発達障害支援スーパーバイザーを講師に招き、特別支援教育の視点から指導助言を受けた。
- 2モデル地域において、LD等への対応について教科指導を通じた研究を実施。発達障害支援アドバイザーの指導助言により、学習上のつまずきを発見し、支援方法を検討した。

(3) 「読み解く力」をもとにした探究的に学ぶ力育成プロジェクト

読み解く力育成セミナーを通して「読み解く力」育成の必要性・重要性について、一層理解が深まり、授業改善の取組が進みつつある。

- 読み解く力育成セミナー（講師：国立情報学研究所 新井 紀子 氏）で、「『読み解く力』向上の実践的な取組について理解することができた」と肯定的に回答した高校生の割合（%）が87.4%だった。
- RSTの受検結果および読み解く力育成セミナーでの分析と指摘をふまえ、各高等学校において改善方策を検討中である。

(4) 子どもが楽しみながら自主的に取り組む読書活動の推進

学校図書館活用支援員の派遣や研修等の開催により、学校図書館の環境改善・活用に向けた取組や、子どもの読書に関わる人々の活動の活性化が進みつつある。

- 県立図書館から学校図書館活用支援員を県内15校の小中学校に派遣し、学校図書館の環境改善・活用のアドバイスを実施した。
- 8月に、今年度新しく出版された児童書の展示会を県立図書館で開催した。→中日新聞に掲載
- 学校図書館リニューアルマニユアル実践講座や、先生のための子ども読書学習講座を開催し、参加者の資質向上を図った。

■下期の予定

1【研究・研修等に関して】

(1) プロジェクト研究・向上研修会

- 市町教育委員会と連携し、各市町の推進委員による公開授業や授業研究会、伝達研修会の実施
- 学ぶ力向上学校訪問（第2期）の際、授業実践を通じた「読み解く力」の育成について指導助言

(2) 「学びにくさのある子どもへの指導充実事業」

- 読み解く力向上研修会における、発達障害支援スーパーバイザーの指導助言（9月、11月）
- 発達障害支援アドバイザーによるモデル地域での指導・支援を継続、指導方法の蓄積

(3) 「読み解く力」をもとにした探究的に学ぶ力育成プロジェクト

- 高校生に「読み解く力」や「探究する力」を身に付けさせることをテーマとしたセミナーの実施
- RSTの受検結果および読み解く力育成セミナーでの講師による分析と指摘をふまえ、高等学校における「読み解く力」を育成するための授業改善の推進

(4) 子どもが楽しみながら自主的に取り組む読書活動の推進

- おすすめ本ポスターの作成、県内全小中学校・県立学校への配布（11月頃）
- 「しがはいすくーるおすすめ本50選」の審査・優秀作品の発表（2月頃）
- ブックトーク普及のためのガイドブックと動画の公開（2月頃）

2【成果報告の予定】

- 年度末に、「読み解く力」を育成するための授業について、具体的な事例集を掲載した指導の手引きを作成し、県内の小中学校全教員に配付する（県や総合教育センターのホームページにも掲載）。
- 研究協議会や学習発表会を通して、モデル校における「読み解く力」の育成を意識した授業改善の研究成果や生徒の探究的な学びの成果を全県に普及する。
- 令和2年2月、総合教育センターにおいて、プロジェクト研究の成果を発表する（総合教育センターのホームページに掲載）。
- 令和2年3月、市町特別支援教育担当者協議会にて、「学びにくさのある子どもへの指導充実事業」についての成果報告を行う。
- 令和2年1～2月頃、「おうちで読書」推進会議やしが子ども読書活動推進協議会において、今年度の取組の振り返りと次年度に向けた検討を進める。
- 「読み解く力」の向上を図る関係課の成果や課題をまとめる。